

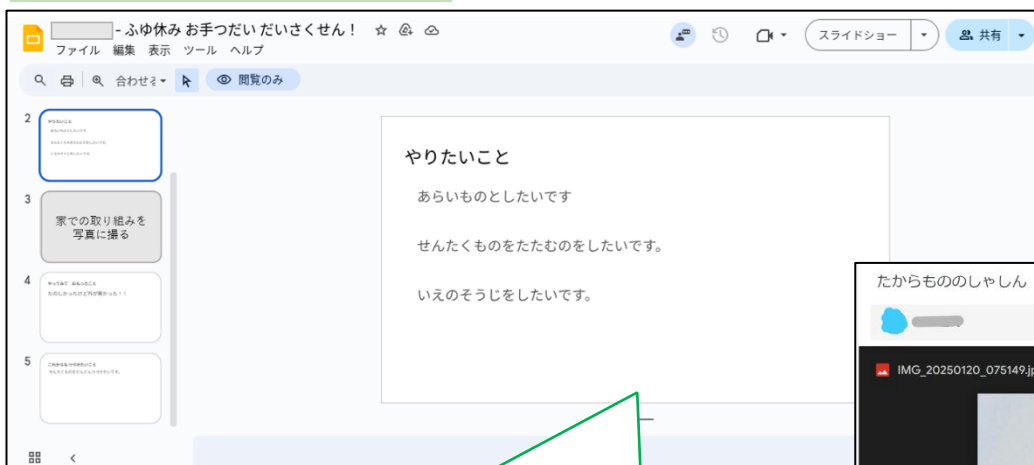
リーディングDXスクール事業【実践事例】

高知市立浦戸小学校（高知県）【指定校】

【取組内容】 家庭での学びを授業で共有①

全学年、毎日タブレット端末を持ち帰っている。低学年はデジタルドリルによる家庭学習に加え、課題に応じたものを写真に撮ってくるなど、家庭でも1人1台端末を活用した学習に取り組んでいる。それを翌日の学習や次單元において児童が発表する際、みんなで見合うことで、学びを深めている。

1年生 生活科「じぶんでできるよ」



【学校にて(導入)】

自分の1日と家の人の1日とを比べ、自分にできることを考え計画を立てる

【家庭にて】

実際に取り組んでいることを写真で撮る

【学校にて(共有)】

冬休みが明けてから発表

【家庭にて】

宝物の写真撮ってくる

【学校にて】

その宝物を紹介する文章を書いて、発表する
→大きくて実物を持つことができない宝物も共有できた。また、写真を活用することで話すだけでなく、聞く側もものを想像しながら話を聞けた

